

流通経済大学 学報

RKU Today

2023

「特集」
であうアート展
in 釜石



04



特集 ①

であうアート展 in 釜石

06



特集 ②

海の日アートフェス 2023

08



学生ピックアップ

第17回青春祭 実行委員会 (新松戸学生会)

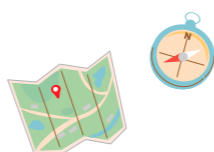
10



龍崎副学長 連載

流経大を歩く

附属柏中学校 附属柏高校



12 後援会報告

2022年度事業報告ほか

14 柏高校ニュース

“新たな流経柏”が船出

15 NEWS & TOPICS

スピーチコンテスト最優秀賞受賞 / 1年間の集大成! チアフェスティバル / 「REAL MAGAZINE」& 「さすてらす」 / 健康づくり! 龍ヶ崎市民大学講座 / 流経大生×チビリンピック / 膳場貴子客員教授と牛久入管訪問 / サッカー FIFA U-20 W杯メンバー選出 / 実践型マーケティング&ビジネス体験講座 / ダイバーシティウィーク2023

挑もう、ともに、その先へ。
流通経済大学

流通経済大学の
ビジュアル・アイデンティティが
新しくなりました。

流通経済 (RYUTSU KEIZAI) のRとKが

様々な形で寄り集まったデザインは『個性の集合・多様性』を、

そして、間を走る白いラインは『交流』を表現しました。

丸みを帯びたりボンモチーフには『優しさ、しなやかさ』の意味も込められています。

学生と教職員、そして地域の方々が手を携え、進んでいく。

挑もう、ともに、その先へ。



2024年4月

流通経済大学の社会学部 社会学科は

「共創社会学部 地域人間科学科」

に名称をリニューアルします。

学部学科名称変更届出済

持続可能な「共生」「共創」社会の醸成に向け、流通経済大学は新たな一歩を踏み出します。大学の使命を一層明らかにしたこの新しい名称のもと、学生の皆さんの広く深い学びを支援してまいります。



詳しくはこちら▶

SPECIAL EVENT 2

6月25日 @釜石市民ホール
ステージパフォーマンス&トークセッション



▲詳しくは
大学公式HPへ

釜石の未来と人々の
幸せを願い生き生きと演技

6月25日の特別イベントでは、チアリーディング部による演技やダンス部による創作ダンス、吹奏楽部とNHK交響楽団金管五重奏とのコラボ演奏など豪華なパフォーマンスを披露。釜石の復興や発展を願ったエネルギーあふれる数々の会場を大きな感動に包みました。

また「つながろう！釜石・流通経済大学・新松戸！」をテーマに開催したトークセッションでは、「青春祭」開催中の新松戸キャンパスと中継を結び、距離を越えて熱気を分かち合いました。



つながり、結びつきを表現した

ダンス&身体表現

▲ヴィクトル・ニジェリスコイ先生は四季の移ろいを「身体表現」で披露
◀「人と人とのつながり、結びつき」をテーマにしたダンス部の創作ダンス

▼吹奏楽部とNHK交響楽団金管五重奏とのコラボ



▲来場者は1,000人超。7月1日には、流経大の提携校、仙台育英学園高校、同学園秀光中学校の皆さんも訪問した

大合唱で思いを一つに

▼東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」を会場の皆さんとともに合唱



釜石とのつながりが深まるトークセッション



◀トークセッションには膳場貴子客員教授、釜石ラグビー応援団副団長の浜登寿雄さん、いのちをつなぐ未来館の川崎杏樹さん、そして龍崎 孝副学長が登場

「であい」つながりを
陰で支えた
学生スタッフたち

今回のイベント開催を支えたのは裏方の学生スタッフたち。所属する部や学年を越えて、一人ひとりが主体的に関わり、イベントを成功へと導きました。ステージに立った学生とは違う形で地域の方々と、新たな「であい」や「つながり」を持つことができ、裏方ならではの喜びや学びを得たようです。



イベント運営を通じて、「自ら考え行動する力」を養う。学生同士のつながりも生まれた

地域共生
プロジェクト!

01

流通経済大生が創る つながる 地域
「であい」アート展 in 釜石

「みんなとであい・みんなとつながる」 2023.6.17-7.2 @KAMAISHI

学生 障がい者

障がい者支援施設「生活工房」(千葉県成田市)と流経大の交流から生まれた「であいアート展」。新松戸、龍ヶ崎の両キャンパスで2021年から始まり、学生と障がいがあるアーティスト、そして地域住民が「であい」をつなぐ、場を創り出してきました。今年は、茨城、福島、宮城、岩手、青森と三陸海岸を北上する形で展開。今回は岩手・釜石の様子をお届けします。

「であいアート展in釜石」は、釜石市民ホールTETTOギャラリーにて、6月17日から7月2日まで実施された

個性豊かで色とりどりの
アート作品を通じて想いを共有

「生活工房」所属アーティストの作品にくわえて、釜石市出身のアーティストなど、東北在住の障がいがある作家の作品を含む計50点が集結した「であいアート展in釜石」の会場。いずれも、大胆な構図や鮮やかな色づかいなど、唯一無二の世界観を持つものばかり。地域住民の方だけでなく遠方からのお客様も多く訪れ、アート作品を介して様々な人が同じ時間、同じ空間、同じ想いを共有する場となりました。

SPECIAL EVENT 1

6月24日 @釜石鶴住居復興スタジアム

流通経済大学ラグビー部と釜石市民交流会

タッチフットボールを通じて
生まれた新たな絆

ラグビーの街としても有名な釜石市。「であいアート展in釜石」の一環として、流経大男女ラグビー部と地元住民の方々が一緒にタッチフットボールを楽しむ交流会が6月24日に行われました。試合は男女混成4チームでのリーグ戦。学生も釜石市民の皆さんも全力でプレーし、笑顔で汗を流しました。スタジアム近くにある東日本大震災の犠牲者追悼施設も訪れた学生たちにとって、一層思い入れの深い交流会となりました。

試合後は「とても楽しかった。また来年も交流したい」との声が口々にのびました。

「かまいし」のC!

▼手で「C」をつくって集合撮影



▲交流会で行われた「タッチフットボール」は、安全かつ手軽に行えるラグビーのミニゲーム



海の目アートフェス

-みんなでつながる・みんなで作る-

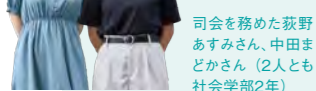
地域共生
プロジェクト!

02

COMMONS ステージ

講堂で行われた「 commonsステージ」では、学内の部活やサークルのほか、流経大付属柏高校の新体操部、地域の子供チアチーム、そして松戸市のアーティストの皆さんも参加。午前の部と午後の部に

分けて、多彩なパフォーマンスを披露しました。グランドフィナーレでは出演者全員とスタッフたちも登壇して、東日本大震災の復興支援ソング「花は咲く」を大合唱。会場が一つになりました。



司会を務めた荻野あずみさん、中田まどかさん（2人とも社会学部2年）



チアでつながる

流経大チアリーディング部/ 子供チアチーム

「GLITTERS」と子供チアチーム「ICSCフェアリーズ」、知的障がい者チアチーム「フェニックス」による元気いっぱいのステージに会場から大きな拍手が



ダンスでつながる

流経大付属柏高校 新体操部/ 流経大ダンス部

新体操部、ダンス部ともに爽やかなパフォーマンスで会場を釘付けに。新入生メンバーも表情豊かに精一杯演技を披露した



楽書でつながる



ヒューマンビートボックス/ 無限未来/ 流経大演劇部 (身体表現)

社会学部2年力石朝日さんのヒューマンビートボックスに合わせて、茨城の書道団体「無限未来」がいくつもの「海」を表現。力石さんが操る波や水滴の音の中に、巨大な「海」が出来上がった。さらに、「海」をテーマとした身体表現を行う演劇部のメンバーに、無限未来がカラフルな古代文字を書き込んでいく。会場は異空間と化した

音楽でつながる



流経大吹奏楽部

卒業生も加わって、J-POPからアニソン、ロックまで全5曲を披露。加藤直明監督のキレのいいトークも会場を沸かせた

松戸市ミュージシャン ステージ

国際派音楽ユニットのChalChalはアラビア音楽を日本語で歌い、テノール歌手の市川浩平さん、ソプラノ歌手の榎本侑子さんはスペインの歌を情熱的に披露。会場はまるで外国にいるような雰囲気



新松戸キャンパスの1階ロビーや共有スペースを会場としたcommonsフィールドでは、学内のゼミやサークル、各セクションが多種多様なブースを展開。参加型のアクティビティも多く、そこかしこで笑顔が弾けました。

COMMONS フィールド

ワークショップでつながる



読み聞かせ ワークショップ/ 書道/プラモ部

入試課前フロアでは、TBSの皆川玲奈アナ、NHK財団 松尾剛アナをゲストに、佐藤ゼミのメンバーが絵本を読み聞かせ。多くの子供たちが前のめりで聴きいった。また、ダイバーシティ共創センターによる書道コーナーや、プラモデル部によるSDGsを意識したユニークなブースも登場



バスケットでつながる

バスケットアートだ!

「バスケットで日本を元気に」をテーマに「バスラボ」を企画する小谷ゼミが、龍崎ゼミ、齊藤ゼミとコラボ。シュート体験は子供たちにも大人気!



マルシェでつながる

commonsマルシェ

今年から始まった流経大主催のマルシェ。地元農家さんやパン屋さんを集め、夕方には完売するブースも多数。会場では茶道部によるデモンストレーションも行われた



《アートII表現》を通じて大学と地域社会がにつながる

7月17日海の日に、今年も「海の日アートフェス」が開催されました。2年目は「みんなでつながる・みんなで作る」を掲げ、より広く、深く、地域の方々とつながり、ともに作り上げていくイベントに。ワー

クショップやマルシェ、展示を行う「commonsフィールド」と、講堂でパフォーマンスを披露した「commonsステージ」で編成され、大学内外から様々な《アートII表現》がキャンパスに集結。海の日にらしく快晴の空の下、約1,000人の来場者が《アートII》を通して心を通わせました。

企画・立案 龍崎孝副学長



大学と地域の絆がより強固に

昨年につづき2回目を迎え、2倍以上の規模で開催することができました。今年は地域の皆さんと学生が「一緒になって」盛り上がり、commons（共有空間）として、一層のつながりを生み出せたと思います。今後は日常的に地域の皆さんとアートを楽しめるワークショップなど、さらに深みと広がりを持たせた企画を実施していきますので、どうぞ一緒に!

詳しくは
大学公式HPへ▶



PICK UP STUDENTS

学生ピックアップ

vol.06 第17回青春祭 実行委員会
(新松戸学生会)

2023年6月24日、25日に新松戸キャンパスで開催された「第17回 青春祭」。両日合わせて約3,000人の方が来場し、賑わいました。開催を支えた実行委員会の学生たちに、どんな想いで運営に取り組んできたか、インタビューしました。

青春祭

流通経済大学新松戸キャンパスの学園祭。コロナ禍の影響で、2020年は中止、2021年はオンライン開催、2022年は飲食の模擬店を禁止した対面開催に。今年は4年ぶりのフル開催となり、従来の活気を取り戻した。実行委員会は自治団体である新松戸学生会内に組織されている。



コロナ禍を乗り越えて、
4年ぶりの「青春祭」フル開催！

経験がない中で、 ゼロから1を生み出す苦勞

松田 4年ぶりの対面でのフルパッケージ開催。僕たちは1年生の時からオンライン開催で、昨年もフル開催が決まったときはとても嬉しかったです。でも、4年前の情報はほぼ残っておらず、オペレーションをゼロから作り上げなければならぬ点は、とても苦勞しました。

田村 例えば、「焼き鳥を焼く器械をどこに頼めばいいの？」、「どのようにブースを配置すれば集客しやすいのか？」など、わからないことだらけ。手分けして情報収集したり、知恵を絞りながら企画や下準備を行いました。

萬木 昨年の12月くらいから準備を始めていたのですが、4月になつて一部の作業が手つかずであることが発覚。急ピッチで進めなければならぬ部分もあったりで、

開催までバタバタで…。当日が近づくにつれて、みんなジリジリしていましたよ。

松田 そうね。学生会では週1回の全体会議のほか、部署長会議を行って連携を図っています。でも、忙しくなってくるとその時間すら取れなくなってくる。そんな中で、まとめる大変さもありました。運営を成功に導くためには情報伝達や連携がとても大事なので、随時、各部署がきちんと回っているかを確認して、足りない部分は互いに協力して補完し合えるよう、意識して体制を作りました。



期待と不安が入り混じる 開催当日

田村 「これだけ準備してお客さんが来なかったらどうしよう」と、不安しかなかったですね。でも、結果として、約3,000人の方が来場してくださり、ホッとしました。コロナの期間を経て、3年生にしてようやくフル開催することができ、みんなの楽しそうな姿を見ることができて本当によかったです。

松田 講堂では、朝からお笑いライブやアーティストを観たい人が並んでくれたり、射的やわたあめブースは家族連れの方々が賑わったり。盛り上がりが見え

てわかって、嬉しかったですね。
萬木 オペラなどは大人世代が多いのかなと思いきや、若い人たちにも人気だったのは意外でした。総合的に幅広い世代に楽しんでもらえてよかったです。



すが、青春祭においてもそういう地域の輪を作りたかった。家族連れや幅広い世代の人が楽しんでいる姿を見て、大学と地域のつながりを感じて胸が熱くなりました。

第17回青春祭を完遂し バトンは次世代へ

田村 細々とした反省点はあるけれど、概ね成功したと言えると思います。反省ポイントはすでに2年生に引き継いだので、それを活かして頑張ってほしいです。

松田 僕は会長としての重圧から解放されて、達成感とともに疲労感を感じているところ。萬木とは会長・副会長として二人三脚でやってきて、いろいろと経験してもらって、すべて伝えてきたつもりですから、もう何も言うことはありません。

萬木 嘉依史さんは考えがはっきりしていて、相談事に対して意見やアドバイスを遠慮なく伝えてくれるので、とても頼りになる存在でした。僕もそういった存在になれるよう、精進したいと思います。
松田 萬木は心配症です。心配ばかりしているんですよ。すこ



く機転が利くし、人当たりもいいから、自信をもって大丈夫。その点を乗り越えたらもっと成長できると思うよ。

萬木 ありがとうございます。今年の経験は「来年につなげるための基盤」という風に考えています。3年生の皆さんには基盤を作ってください。感謝し、来年はもっと盛り上がる青春祭を作り上げたいと思います！
松田 おお、宣言したね！成功するのは当たり前だからね。必ずいいモノを作ってください！
萬木 任せてください！





流経大を歩く

流通経済大学キャンパスの魅力をお伝えする本連載。
今回は、付属柏中学校の開校を記念して、
探索フィールドを「日通学園」へと広げ、ご紹介します。



Takashi Ryuzaki

文：龍崎 孝

流通経済大学副学長・社会学部教授
元毎日新聞社記者、元TBSテレビ政治部長／第30
回日本ジャーナリスト会議JCI奨励賞「財界と政界～
再編の胎動」(1990年度)／第30回放送文化基金賞
「JNN三陸臨時支局の活動に対して」(2012年度)



#002

付属柏中学校
付属柏高校



希望の地に 新設された 『図書・メディア棟』

「十余二」と書いて、「とよふた」と読む。流通経済大学に赴任したころ、恥ずかしながら付属柏高校のあるこの場所の地名を読むことができなかった。農水省関東農政局のHPによれば、江戸時代に幕府による馬の放牧地であった北総台地の「牧」は、明治期になって入植者の開拓によって農地へと転換された。その数は13あり、12番目

に開かれた土地が「十余二」だった。開拓地にはいずれも縁起をかついだ地名がつけられた。例えば1番目の開拓地は「初富」、4番目は「豊四季」、8番目は「八街」。だから、「とよふた」としたのは「豊」をイメージしたものだという。

未来へ向けた希望と豊かさが込められた地「十余二」に、2023年4月、付属柏中学校が開校した。高校と新設の中学校を結んでいるのは、『図書・メディア棟』である。敷地の関係上、また効率の上からなのだろうが、高校と中学を結ぶのが単なる「渡り廊下」ではなく、知の拠点でもある「図書館」というのは、教育機関である日通学園として、なんとも誇らしい。

木を多用した 吹き抜けの すがすがしい空間

日通学園内には大学を含め多くの施設やフィールドがあるが、正直に言おう、私はこの図書・メディア棟が、群を抜いて好きである。いつまで居ても飽きない場所、とても言おうか。そこで8月の酷暑の日、この図書・メディア棟に何度目かの訪問を果たした。1階

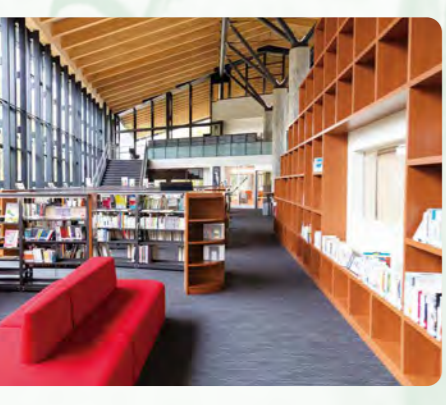


は中学校の理科施設、2、3階は吹き抜け構造の図書館で、蔵書数は43,600冊。スポーツ関連の書籍が充実しているのも付属柏

中高校ならではの。吹き抜けの構造は、心に余裕を与えてくれるし、見上げると木製の天井が図書館全体を覆っていて、何より気持ちがいい。また、3階部分には外国にいる講師と結んでオンライン授業を受けられる「バーチャル留学ルーム」もある。私が特に気に入っているのは、随所に大ぶりなソファが配置されていることと、階段状に敷設された閲覧席だ。機能本位の流経大の図書館より、ずっとおしゃれ(笑)

教室とはまた違う 景色が広がる「学びの場」

この図書館には2人の司書が配属されている。訪問した日に勤務していた前田梨絵さんに「ぜいた



る。本に落とした視線を上げると、人工芝とはいえ、緑の空間が広がる。この日は男女のラグビー部員が駆け回っていた。生徒たちの「使用感レポート」を見せてもらった。「部活を頑張っている人が見られてやる気アップ!」「木々を眺めながら、教室にはないカフェみたいなイスで勉強・読書すると集中できる」と綴られている。



スポーツに打ち込む生徒たちを時折見つけながら、また読書や勉強に励む生徒たちがある。「学び舎」にはいくとりの学びがあることを改めて教えてくれたこの場所が、一層好きになった。

2023年度収支予算書

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

(金額単位:円)

項目	予算	摘要
前年度からの繰越	39,008,370	
前渡金回収	0	
収入の部		
当年度収入		
入会金	6,305,000	入学者1,261名 (外国人留学生・編入学生含)
会費収入	60,738,000	
計	67,043,000	
収入合計(A)	106,051,370	
支出の部		
運営活動費		
通信費	1,000,000	後援会資料・保護者ポータル通知ハガキ郵送料等
印刷費	1,000,000	後援会資料印刷、保護者ポータル通知ハガキ作成
会議費	200,000	
事務費	5,000,000	
父母懇談会費	1,100,000	案内状・配付資料作成、動画配信・録画費用
雑費	150,000	
小計	8,450,000	
後援費		
諸行事後援費	10,000,000	卒業記念品、学生イベント等の補助
小計	10,000,000	
就職活動費		
求人開拓費	20,000	求人のための費用
就職指導費	9,000,000	合同企業説明会費用、学生・保護者配付資料作成、エントリーシート攻略テスト受験料
小計	9,020,000	
課外活動振興費		
課外活動補助費	9,000,000	スポーツ傷害保険料、課外活動備品等
大学祭・体育祭補助費	1,600,000	大学祭への援助
クラブ顧問補助費	22,000,000	遠征、合宿等の旅費等の補助
小計	32,600,000	
環境整備寄付金	2,000,000	
前渡金支出	0	
支出合計(B)	62,070,000	
翌年度へ繰越(A-B)	43,981,370	

2023年後援会役員

2023年度の役員が決定しました。

会 長	佐久間 行雄
副会長	風見 順一
監 事	野村 浩一

2023年度事業計画

2023年度は、本後援会の目的(会則第3条)及び事業(第5条)にそって、次に掲げる事業を推進していくものとする。

1 後援会会員(父母)と大学との連携

保護者相談会(旧父母懇談会)の実施に伴う諸費用の援助

2 就職活動への援助

- 求人開拓・就職キャリア指導に対する援助
- エントリーシート攻略テスト受験料の全額負担

3 課外活動に対する援助

- 文化系・運動系クラブに対する援助
- 課外活動関係設備を充実するための援助
- 課外活動傷害保険料の全額負担

4 諸行事への援助

- 学生が開催する大学祭等の行事に対する援助
- 卒業生に対する卒業記念品の贈呈・惜別会開催費の援助等

5 後援会奨学金の貸与

家計急変等により学業継続が困難となった学生に大学と協力し、後援会奨学金を貸与

6 その他

環境整備への援助 以上

2022年度収支決算書

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

(金額単位:円)

項目	予算(a)	実績(b)	増減(a-b)	備考
前年度からの繰越	44,153,645	44,153,645	0	
前渡金回収		0	0	
収入の部				
当年度収入				
入会金	5,750,000	5,790,000	△ 40,000	入学者1,165名 (外国人留学生・編入学生含)
会費収入	55,684,000	56,358,750	△ 674,750	
利息収入	0	999	△ 999	預金利息
計	61,434,000	62,149,749	△ 715,749	
収入合計(A)	105,587,645	106,303,394	△ 715,749	
支出の部				
運営活動費				
通信費	1,000,000	66,182	933,818	資料、保護者ポータル通知ハガキ郵送料等
印刷費	1,000,000	262,460	737,540	資料、保護者ポータル通知ハガキ印刷費等
会議費	200,000	0	200,000	
事務費	5,000,000	4,910,000	90,000	
父母懇談会費	1,100,000	112,500	987,500	
雑費	150,000	60,976	89,024	振込手数料他
小計	8,450,000	5,412,118	3,037,882	
後援費				
諸行事後援費	10,000,000	30,621,480	△ 20,621,480	卒業記念品代、惜別会代、歩行誘導マット代等
小計	10,000,000	30,621,480	△ 20,621,480	
就職活動費				
求人開拓費	20,000	0	20,000	
就職指導費	9,000,000	7,934,352	1,065,648	学内合同企業説明会費用、 エントリーシート攻略テスト受験料 等
小計	9,020,000	7,934,352	1,085,648	
課外活動振興費				
課外活動補助費	9,000,000	2,432,000	6,568,000	スポーツ傷害保険料、課外活動備品購入
大学祭・体育祭補助費	1,600,000	1,600,000	0	
クラブ顧問補助費	22,000,000	17,295,074	4,704,926	遠征、合宿等の旅費等の補助
小計	32,600,000	21,327,074	11,272,926	
環境整備寄付金	2,000,000	2,000,000	0	
前渡金支出		0	0	
支出合計(B)	62,070,000	67,295,024	△ 5,225,024	
翌年度へ繰越(A-B)	43,517,645	39,008,370	4,509,275	

財産目録 (2023年3月31日 現在)

(金額単位:円)

項目	金額	摘要
(一般資金)		
現金	248,494	手許残高
預金(常陽銀行 竜崎支店)	38,759,876	期末残高
小計	39,008,370	
(育英資金)		
定期預金(常陽銀行竜崎支店)	15,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行竜崎支店)	35,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行竜崎支店)	5,000,000	育英基金果実
普通預金 奨学金口(常陽銀行竜崎支店)	5,571,079	育英基金果実
育英基金貸付金	1,218,000	3名
小計	91,789,079	
合計	130,797,449	
負債の部	0	
差引正味財産	130,797,449	

監査報告書

流通経済大学後援会会則第10条第3項の規定により、2022年度流通経済大学後援会収支決算について諸帳簿を監査した結果、その内容についてはいずれも正当なものと認め、第13条の規定により報告いたします。

2023年3月27日 監事 野村 浩一
会長 佐久間 行雄

後援会報告

本学在学生の父母で構成される後援会は、大学と各家庭との連携を深め、本学の発展・向上を図るために各種事業を行っています。

2022年度事業報告

2022年度の事業計画にもとづいて、次のとおり後援会の事業を実施した。

1 後援会会員(父母)と大学との連携

保護者相談会(旧父母懇談会)を3年ぶりに、対面形式で実施した。学長挨拶及び教務・就職の説明に関しては、後日 Ring 保護者ポータルにてオンデマンドで配信を行った。

2 就職活動への援助

後援会発足以来の重点施策の一つである大学の就職キャリア指導に全面的に協力し、学生用・保護者用就職ガイド(冊子)の作成、エントリーシート攻略テストの受験料、学内合同企業説明会(オンライン)の運営費用を負担した。

3 課外活動等に対する援助

- 大学の課外活動振興が円滑に推進できるよう、文化系・運動系クラブの試合遠征や合宿等の費用を援助した。
- 課外活動傷害保険料を全額負担した。

4 諸行事への援助

- 卒業生に対し卒業記念品を贈呈し、惜別会開催の費用を援助した。
- 電子決済対応食券自動券売機の購入費用を負担した。
- 視覚障がい者歩行誘導ソフトマットの整備費用を負担した。

5 その他

- 環境整備への援助をした。 以上

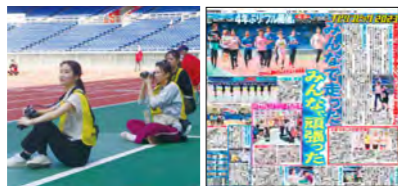


最新TOPICSは大学公式HPで随時更新中!
各記事のQRコードからも詳細をご覧ください。

NEWS & TOPICS

'235/3~5 流経大生×チビリンピック

日刊スポーツ新聞社主催「チビリンピック 2023」に、社会学部の学生27人とスポーツ健康科学部の学生2人がスタッフとして参加しました。給水や会場整理、アテンドなど、スポーツイベントを支える仕事をリアルに体験。社会学部3年の関口萌々子さんが撮影した写真は紙面に採用されました。



'235/17 膳場貴子客員教授と牛久入管訪問

社会学部と法学部の学生がニュースキャスターで本学客員教授の膳場貴子先生とともに東日本入国管理センター(牛久入管)を訪問しました。収容者の生活や入管問題の現実を知り、「人権」を自分事として考える貴重な機会になったようです。



'235月 サッカー FIFA U-20 W杯メンバー選出

サッカー部GKでスポーツ健康科学部2年の彼島優さんが「FIFA U-20 ワールドカップ アルゼンチン2023」の日本代表メンバーに選出されました。今回は控え選手でしたが、今後の活躍が期待されます。



'236~7月 実践型マーケティング&ビジネス体験講座

博報堂DYスポーツマーケティング現役社員を講師に迎えて、スポーツビジネスの実践スキル獲得を目指す講座を今年度も実施。学部もキャンパスも越えて、45人の学生が全8回を受講しました。秋学期もこの特別講座を開催予定です。



'237/3~8 ダイバーシティウィーク 2023

「ダイバーシティ(多様性)」推進の一環として、全学をあげて1週間にわたりジェンダーやLGBTQ+、障がい者支援、SDGsなどについて考え、議論しました。



'232/18 スピーチコンテスト最優秀賞受賞

「第31回松戸市外国人日本語スピーチコンテスト」において、ベトナム出身で国際観光学科2年(当時)のクアン ティクオンさんが最優秀賞を、同ホアン ティトゥ ウエンさんが優秀賞を受賞しました。緊張を乗り越え、自分の言葉で思いを伝えた2人。大きな自信を得たようです。



'233/19 1年間の集大成! チアフェスティバル

一般社団法人日本知的障害者チアリーディング協会(JIDCA)とともに1年間チア体験会を実施してきた集大成として、発表会「RKU×JIDCA ID CHEER Festival」を開催。新松戸キャンパス2号館に7チーム、約100名が集結して成果を披露し、観客の皆さんを魅了しました。



'234月 『REAL MAGAZINE』&「さすてらす」

全学で取り組むプロジェクトやキャンパスライフの魅力が詰まった「流通経済大学 REAL MAGAZINE 2023」が発刊となりました。さらに「17歳のためのSDGsサイト さすてらす」



も開設。学び、考え、行動する、一歩進んだSDGs情報をお届けしています。

「さすてらす」▶

'231~2月 健康づくり! 龍ヶ崎市民大学講座

龍ヶ崎市と連携し、市内在住60歳以上の方を対象に「食の改善」「健康と運動」「脳トレ運動」などをテーマに市民大学講座(全3回)を開催しました。



★ 流経大付属柏高校ニュース ★



RKU KASHIWA HIGH SCHOOL NEWS



★ “新たな流経柏” が船出



文: 柴田一浩 校長

4月に開校した付属柏中学校に159名、付属柏高校に402名の新生を迎え、中高合わせた全校生徒1,347名で2023年度がスタートしました。中学校では、流経大の教員や学生とオリエンテーション合宿にのぞみ、龍ヶ崎キャンパスにあるプロジェクトアドベンチャーの学習に取り組んだり、流経大のプールを利用して水泳や心肺蘇生法の授業に取り組んだり、付属校としての特色を活かした教育を推進しています。

高校では、3月に卒業した生徒から本校初の東京大学現役合格者を輩出、また、東北大学に2名、筑波大学に4名合格するなど、輝かしい進路実績を挙げました。在籍している生徒たちも今年の卒業生と同等、またはそれ以上の成果を挙げるために、新築した「図書・メディア棟」の自習スペースやイングリッシュラ

ウンジを利用するなど、それぞれの目標を達成するための学習活動に取り組んでいます。

流経柏は、「未来を創造する叡智を養い、自己実現を図ることとグローバルリーダーを育成する」ことを教育目標に掲げるとともに、探求・創造・協働による「学び合い」を通して様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手となることのできる人材を育成することなどを重点目標としています。中学・高校・大学の緊密な連携を図り、中高一貫校としての豊かな教育を推進してまいります。



◀ 詳しくは、付属柏高校の公式HPに掲載しています。



付属柏中学校入学式



新入生オリエンテーション



オンライン英会話授業の様子

★ 2023年度前期 全国大会出場 部活動紹介



男子ラグビー部

長野県上田市で7月に開催された「第10回全国高校7人制ラグビーフットボール大会」に9大会連続での出場を果たしました。



柔道部

8月に札幌で行われた「令和5年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)」の柔道競技 男子100kg超級にタカヤワ・ジェラードさんが出場しました。



競技かるた部

滋賀県大津市で7月に開催された「小倉百人一首競技かるた第45回全国高等学校選手権大会」(399校が予選に参加)に、創部6年目にして初出場を果たし、ベスト8入りしました。



放送部

7月の「第70回NHK杯全国高校放送コンテスト」全国大会に5部門で出場し、ラジオドキュメント部門と創作ラジオドラマ部門で制作奨励賞を受賞しました。



新任教員紹介

2022～2023年度に
新たに赴任した教員を紹介します。

のざわ かずひろ
野澤 一博 経済学部教授

- 学歴
ニューカッスル大学大学院地域開発学研究所修士課程修了
東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻修士課程修了
- 学位
修士(地域開発)ニューカッスル大学
博士(学術)東京大学大学院

あいざわ みつはる
藍澤 光晴 経済学部准教授

- 学歴
関西大学大学院経済学研究科経済学専攻博士前期課程修了
龍谷大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程修了
- 学位
修士(経済学)関西大学
博士(経済学)龍谷大学

まなか きょうこ
真中 今日子 経済学部准教授

- 学歴
横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科博士前期課程修了
横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科博士後期課程修了
- 学位
修士(経済学)横浜市立大学大学院
博士(経済学)横浜市立大学大学院

あべ しょうた
阿部 翔太 経済学部助教

- 学歴
広島大学大学院文学研究科人文学専攻修士課程前期修了
広島大学大学院文学研究科人文学専攻修士課程後期在学中
- 学位
修士(文学)広島大学

いちおか たかし
市岡 卓 社会学部教授

- 学歴
法政大学大学院国際文化研究科修士課程修了
法政大学大学院国際文化研究科博士後期課程修了
- 学位
修士(国際文化)法政大学
博士(国際文化)法政大学

さとう じゅんこ
佐藤 純子 社会学部教授

- 学歴
早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際関係学専攻修士課程修了
早稲田大学大学院人間科学研究科家族社会学専攻博士課程修了
- 学位
修士(国際関係学)早稲田大学
博士(人間科学)早稲田大学

あおざさ しんいち
青笹 真一 流通情報学部教授

- 学歴
北海道大学大学院地球環境科学研究科物質環境化学専攻
修士課程修了
- 学位
修士(地球環境科学)北海道大学
博士(工学)東京大学

はせ こうじ
長谷 孝治 流通情報学部教授

- 学歴
横浜国立大学大学院教育学研究科健康・
スポーツ系教育専攻修了
- 学位
修士(教育学)横浜国立大学

ひらおか ひろし
平岡 航 流通情報学部准教授

- 学歴
ソルボンヌ大学大学院哲学-社会学科哲学史専攻修士第二課程修了
ソルボンヌ大学大学院哲学専攻博士課程修了
- 学位
修士(哲学-社会学)ソルボンヌ大学
博士(哲学)ソルボンヌ大学

ぬま けんじ
沼 賢二 流通情報学部助教

- 学歴
神戸大学大学院経営学研究科現代経営学専攻専門職学位課程修了
埼玉大学大学院人文社会科学研究科経済経営専攻博士後期課程修了
- 学位
経営学修士(専門職)神戸大学
(経営学)埼玉大学

おおしお まゆみ
大塩 真夕美 法学部准教授

- 学歴
ニューヨーク州立大学大学院バッファロー校アメリカ研究専攻修士課程修了
白百合女子大学大学院文学研究科言語-文学専攻博士課程修了
- 学位
Master of Arts ニューヨーク州立大学
博士(文学)白百合女子大学

たなか まさこ
田中 雅子 法学部准教授

- 学歴
東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻修士課程修了
東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻博士課程修了
- 学位
修士(学術)東京大学
博士(学術)東京大学

たかぎ かなえ
高木 加奈絵 法学部助教

- 学歴
東京大学大学院教育学研究科学校教育高度化専攻学校開発
政策コース修士課程修了
東京大学大学院教育学研究科学校教育高度化専攻学校開発
政策コース単位取得後満期退学
- 学位
修士(教育学)東京大学

いぐち きよし
井口 清 スポーツ健康科学部助教

- 学歴
流通経済大学経済学部経営学科卒業
- 職歴
埼玉県警察官警部

こばやし りい
小林 塁 スポーツ健康科学部助教

- 学歴
同志社大学大学院社会学研究科メディア学専攻修了
同志社大学大学院総合政策科学研究科総合政策科学専攻修了
- 学位
修士(メディア学)同志社大学
博士(政策科学)同志社大学

にしだ さとる
西田 智 スポーツ健康科学部助教

- 学歴
筑波大学大学院人間総合科学研究科3年制博士課程スポーツ
医学専攻
- 学位
修士(体育学)筑波大学大学院
博士(スポーツ医学)筑波大学大学院

いさか たかし
井坂 孝 スポーツ健康科学部特任講師

- 学歴
東京学芸大学教育学部中等教育教員養成課程地理専攻修了
- 学位
学士(教育学)東京学芸大学

編集後記

- この夏、地元のお祭りが、実に4年ぶりに開催された。待ちわびた日が、ついにやってきた。はやる気持ちをおさえながら会場に着くと、その熱気に圧倒された。出店が立ち並び、音楽が鳴り響き、活気が満ち溢れていた。地域住民の方々が、年齢や立場を越えて、にぎやかに談笑していた。お祭りの醍醐味は、こうした一体感を肌で直接味わえるところにある。今回足を運んで、そう実感した。
- 本学もこの夏は、人と人とのつながりを生み出して、大きなイベントを実施することができた。6月には「青春祭」を新松戸キャンパスで、「であうアート展」を岩手県釜石市で、そして、7月には「海の日アート

- フェス」を新松戸キャンパスで主催した。会場では、地域の方々と学生が親睦を深めていく場面が、何度も見受けられた。本誌を読んでいただけでも、当日の雰囲気を感じ取っていただけるはずだ。
- コロナ禍で思うように開催できなかった行事が、今、学内外で次々と息を吹き返し始めている。大変喜ばしいことである。これからますます多くの催し物が企画され、新たな出会いを創出していくことだろう。地域に貢献する大学として、本学もその一翼を積極的に担っていきたい。改めてその思いを強くしたひと夏であった。

